**第15章　事後学習ワークシート**

1. 心理的安全性の概念は理解できただろうか。以下の問いに答えてみよう。

(1) 人は集団の中で話す時に「おびえ」を感じるとされるが，それは4つの不安からだと言われる。　　　　　　の中に入ることばは何だろうか。

　　1) 無能だと思われる不安。

　　2) 　　　　だと思われる不安。

　　3) ネガティブだと思われる不安。

　　4) 邪魔するひとだと思われる不安。

(2) 2007（平成19）年の流行語大賞になった「ＫＹ」は「空気をよめない」と解釈されたが，医師の鎌田實氏はチームの心理的安全性を高めるために「空気を　　　　　」と読もうと提案している。

2. 対話を円滑にするには自分の心を「開き」（かい）」と相手の話を「聞く」（もん）」が必要ですが，何を開き，どのように聞くのか　　　　　　の中に言葉を入れてみよう。

　(1) 「開く」内容は以下の4項目である。（オープンマインドする内容）

　　1) 事実 2) 　　　 3) 価値観 4) 　　　　　。

　(2) 「聞く」態度には4つの機能がある。

　　1) 意味を知る 2) OKする 3) 　　　　　する 4) 判別する

3. アドラーによれば「感情はある目的を達成するための道具として使われる」とされる。中でも「怒り」の感情は様々な感情の中でもやっかいな感情で使い方を誤ると不幸になる。「怒り」の感情の使用目的は以下の4つとされる。

　　(1) 　　　　 (2) 勝つ (3) 仕返しをする (4) 　　　　　。

4. あなたが考える「こころの健康な人」とはどんな人だろうか。あなたの身近な人の中で，「こころの健康な人」と思う人を一人あげてその理由を考えてみよう。

|  |
| --- |
|  |